

平成 29 年 1 月 27 日

2 年生保護者 様

新見市立哲多中学校
校 長 梶川 克紀

平成 28 年度 第 2 学年

学力定着状況たしかめテスト（平成 28 年 11 月 4 日実施）の結果について

厳冬の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校教育の推進に、ご理解とご協力をいただき、感謝いたします。

さて、本年 11 月に実施しました「学力定着状況たしかめテスト」の結果につきまして、その概略を文書にてご報告いたしますとともに、個人票を配布いたしますので、各ご家庭でのご参考にしていただきますようご案内いたします。

記

1 到達度について（正答率％）

教 科	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
本校平均正答率	77.5	65.5	67.8	57.6
本県平均正答率	72.7	58.9	62.2	53.1

2 各教科ごとの分析

教科	すぐれている点 改善を要する点	対 策
国語 A	・ 目的に応じて要旨を捉える能力が高い。 ・ 文脈に即して漢字を書く能力が高い。 ・ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う力が優れている。 ・ 古典作品への関心が高い。 ・ 無回答が少なく意欲が感じられる。	・ 基礎となる漢字練習を繰り返す行う。 ・ 自分で書いた文章を周りとは交流し、精査する練習をする。
	・ 文脈に即して漢字を正しく読む能力が弱い。 ・ 表現の仕方に注意して説得力のある話をする力が弱い。	
国語 B	・ 文章と補助資料のかかわりを理解する能力が高い。 ・ 物語の場面展開を捉える能力が優れている。 ・ 物語の内容や登場人物言動などから、自分の考えを書く能力が優れている。	・ 様々な物語を読み、優れている点をさらに伸ばし、苦手な所を改善していく。
	・ 物語の展開や表現の特徴を捉える能力が弱い。	

数 学 A	・正の数・負の数の計算・方程式・連立方程式などの正答率が高く基本的な計算力がついている。 ・比例や一次関数などの関数分野の正答率は多くの設問で全国平均よりも優れている。 ・無回答が少なく意欲が感じられる。	・計算力についてはついてきているが、日々の計算練習を欠かさず行う。
	・立体の体積を求めたり、多角形の角の求め方などの平面図形や空間図形の分野の正答率が低い。 ・度数分布表から相対度数を求める問題の正答率が低い。	・図形・立体分野では、問題演習だけでなく、図をかいたり、立体を見てかいたりしながら理解を深めていく。
数 学 B	・2桁の自然数を文字で表し、予想した事柄を説明する問題では、全国平均より高い正答率だった。 ・紋切り遊びの問題では、数学的な表現を用いて説明することができた生徒が多い。	・授業でのアクティブラーニングを活用し、お互いに説明する力をつけていく。
	・関数分野で、グラフの特徴を捉え、問題を解決する能力が低い。 ・記述式の問題の正答率が低いものがいくつかあった。	・単元の最後の復習で、生徒自身がIWBで説明するなどして理解を深めていく。

3 たしかめテスト後の生徒の取り組み

- ・個人票を面談と共に返却し、学習の取り組み方を振り返る。
- ・eライブラリを活用して苦手な項目の復習に取り組む。